

# ことわざ(中級)プリント

月

日

名前

問1 「立つ鳥跡を濁さず」の意味はどれですか？

1. 鳥が飛び去った後は静かになる      2. 汚い場所には近づかないほうがいい      3. 去る者は追わず、来る者は拒まない      4. 立ち去る時は、後始末をきちんとしておくべきだ

問2 「水清ければ」に続く言葉はどれですか？

1. 虫動かず      2. 人住まず      3. 鳥飛ばず      4. 魚棲まず

問3 「論より（ ）」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 事実      2. 証拠      3. 理屈      4. 説明

問4 「泥棒を見て縄を綯う」の意味はどれですか？

1. 事が起きてから慌てて準備をすること      2. 泥棒の様子をじっくりと観察すること      3. 泥棒を捕まえる前に縄を用意しておくこと      4. 泥棒を捕まえるために縄の作り方を練習すること

問5 「嘘から出た（ ）」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 芽      2. 花      3. 実      4. 種

問6 「瓜の蔓に茄子はならぬ」の意味はどれですか？

1. 血筋や原因が違えば、それに応じた結果しか出ない      2. 努力をしなければ、良い結果は得られない      3. 瓜と茄子は似ているようで全く別物である      4. 一生懸命育てても、違う種類のものは実らない

問7 「郷に入っては」に続く言葉はどれですか？

1. 土地に従え      2. 郷に従え      3. ルールに従え      4. 人に従え

問8 「大山鳴動して」に続く言葉はどれですか？

1. 嵐一回      2. 何もなし      3. 山一つ      4. 鼠一匹

問9 「知らぬが」に続く言葉はどれですか？

1. 神      2. 仏      3. 鬼      4. 王

問10 「老いては（ ）に従え」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 師      2. 子      3. 友      4. 親

問11 「後の」に続く言葉はどれですか？

1. 片付け      2. 余韻      3. 静けさ      4. 祭り

問12 「好きこそ物の（ ）なれ」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 下手      2. 上手      3. 苦手      4. 得意

問13 「可愛い子には（ ）をさせよ」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 仕事      2. 運動      3. 勉強      4. 旅

問14 「柳の下の泥鰌」の意味はどれですか？

1. 柳の下にはいつも泥鰌がいるということ      2. 柳の下で泥鰌を待つのは無駄な努力だということ      3. 一度うまくいったからといって、二度目も同じようにうまくいくとは限らないということ      4. 泥鰌を捕まえるには柳の下を探すべきだということ

問15 「捨てる神あれば拾う神あり」の意味はどれですか？

1. ある人に見捨てられても、他の誰かが助けてくれるものだ      2. 神様は気まぐれで、助けたり見捨てたりする      3. 何かを捨てれば、必ず新しいものが手に入る      4. 神様を信じれば、どんな時でも救われる

問16 「青は藍より出でて」に続く言葉はどれですか？

1. 青より強し      2. 藍より深し      3. 青より濃し      4. 藍より青し

問17 「大は小を」に続く言葉はどれですか？

1. 兼ねる      2. 含める      3. 超える      4. 補う

問18 「飛んで火に入る夏の虫」の意味はどれですか？

1. 夏の夜に虫が火に集まる様子を観察すること      2. 自分から進んで災難や危険の中に飛び込んでいくこと      3. 夏になると虫が火に集まってくるという自然現象のこと      4. 火を怖がらずに近づく虫のように勇敢であること

## 答え合わせ・解説

問1	答え 4 立ち去る時は、後始末をきちんとしておくべきだ	「立つ鳥跡を濁さず」は「立ち去る時は、後始末をきちんとしておくべきだ」という意味です。
問2	答え 4 魚棲まず	「水清ければ魚棲まず」の続きは「魚棲まず」です。意味は「あまりに清廉潔白すぎる、かえって人から敬遠されて仲間が集まらない」です。
問3	答え 2 証拠	「論より証拠」の「証拠」の部分が入ります。意味は「あれこれ議論するよりも、実際の証拠を示すほうが確実だということ」です。
問4	答え 1 事が起きてから慌てて準備をすること	「泥棒を見て縄を絞う」は「事が起きてから慌てて準備をすること」という意味です。
問5	答え 3 実	「嘘から出た実」の「実」の部分が入ります。意味は「嘘のつもりで言ったことが、結果として本当のことになること」です。
問6	答え 1 血筋や原因が違えば、それに応じた結果しか出ない	「瓜の蔓に茄子はならぬ」は「血筋や原因が違えば、それに応じた結果しか出ない」という意味です。
問7	答え 2 郷に従え	「郷に入っては郷に従え」の続きは「郷に従え」です。意味は「その土地や集団の習慣やルールには、自分を合わせていくべきだ」です。
問8	答え 4 鼠一匹	「大山鳴動して鼠一匹」の続きは「鼠一匹」です。意味は「大騒ぎした割には、結果がとて小さくつまらないこと」です。
問9	答え 2 仏	「知らぬが仏」の続きは「仏」です。意味は「知らないでいれば、心穏やかでいられるということ」です。
問10	答え 2 子	「老いては子に従え」の「子」の部分が入ります。意味は「年をとったら、何事も子供の意見に従うほうが円満に行く」です。
問11	答え 4 祭り	「後の祭り」の続きは「祭り」です。意味は「時期を逃してしまい、手遅れであること」です。
問12	答え 2 上手	「好きこそ物の上手なれ」の「上手」の部分が入ります。意味は「好きなことに対しては熱心に取り組むので、自然と上達するものだ」です。
問13	答え 4 旅	「可愛い子には旅をさせよ」の「旅」の部分が入ります。意味は「子供を本当に愛しているなら、甘やかさず苦労を経験させるべきだ」です。
問14	答え 3 一度うまくいったからといって、二度目も同じようにうまくいくとは限らないということ	「柳の下の泥鰌」は「一度うまくいったからといって、二度目も同じようにうまくいくとは限らないということ」という意味です。
問15	答え 1 ある人に見捨てられても、他の誰かが助けてくれるものだ	「捨てる神あれば拾う神あり」は「ある人に見捨てられても、他の誰かが助けてくれるものだ」という意味です。
問16	答え 4 藍より青し	「青は藍より出でて藍より青し」の続きは「藍より青し」です。意味は「弟子が師匠よりも優れていること」です。
問17	答え 1 兼ねる	「大は小を兼ねる」の続きは「兼ねる」です。意味は「大きいものは小さいものの代わりにもなるので、役に立つ」です。
問18	答え 2 自分から進んで災難や危険の中に飛び込んでいくこと	「飛んで火に入る夏の虫」は「自分から進んで災難や危険の中に飛び込んでいくこと」という意味です。